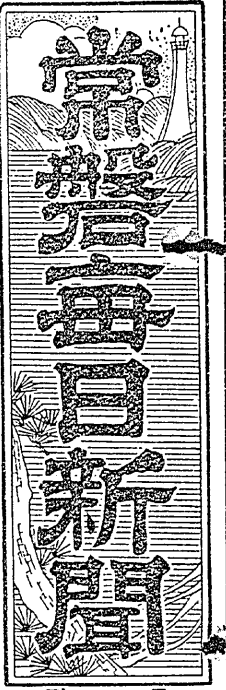


夕刊 日三廿月六



定額 一月五錢 郵費五錢
 廣告料 五錢 十二字 一行 五錢 拾行
 日曜 祭日 休刊
 發行所 常警日新報社
 印刷所 常警日新報社

和洋服の

お手入れ

再吟味しませう

□春ちうきてゐた和洋服類を、うっかりそのままにして梅雨をこしましたから、時にはなくても追つかないやうなしみや虫くひやを発見しなければなりません。この際、すべてに十分手入れがといてあるつもりでも、今一度再吟味をしていただきます。

□天氣のよい日に衣類を取り出して全体をよくブラシてはらひ、袖口等をキハツ油でふきます。しみの處はほうき水でそつとふいてみて、取れないやうでしたらなまなかいちつてみるより商賣人にだしてそれ、始末をしてもらつた方が結局得になります。

●洋服は勿論のこと、和服でも害虫の卵を生みつけられておはしまいかとの心配から避けるには全体へ熱い目のアイロンをかけることです。かうすればどんな卵でも皆死滅しますから絶対に安全です。若し外套その他に毛皮類がついてをりましたらそれを取りはずしクリーニング屋に頼んで毛皮を處理する紛がありますから

分けてもらへ、それを毛に振りかけてくる／＼と振りまはして行き渡らせてからよく叩くと毛の中のはこりが紛に吸はれてすつかりとれて落ちます。□毛織物、毛皮類はあたらしい新聞紙にいく重にもつゝみ、密封の出来るやうな箱トタン製ならば極上です。に防虫剤をたくさん入れて仕舞ひます。この頃は新しい防虫剤のなか／＼よくきくのが種々出来てゐますから、信用のある藥店にご相談なさるのが一番です。●和服は一寸した手間です。すから是非次の方法で疊みつけて下さい。羽織なり着物なりを疊む時後巾前巾、袖巾だけ新聞紙を切つてそれをそれ／＼後前にはさみ袖は袖の中に入れて疊みつけるのです。かうすると少しのしわも寄らず今度出して着る時にまるでアイロンの當てたてのやうにきちんとして居ります。又新聞紙ですから害虫をもよほさず全く一舉兩得の方法です。



宮口 貞子

口べにのややくつくげば何かしらなまめく乙女と

なりしわれかな
 えり元に何か若さがあるごとく思はるる朝つけえりをする

南 涯

あかつきの五月の空のうるほひに若人われらいざ歌はん
 人ごころ五月の空にうかれつづくら音頭とジャズと花見と

山本 うつろ

かくて人のほかなきものを
 を見るにつけわが健康の強さをしるも
 先づ健康われも妹もはつらつと若者らしく育ちたるなし

幽 子

去る日近き家の障子を張かへてゐたまふ母の白髪目に見ゆ
 タべづくひかりの庭にあひて立つ背にちら／＼と花がちるなり

佐々木 正一

娘たち明るきこえに濯ぎ
 おり長屋の中に自然あるなり
 娘たち年頃となればおしろいのほひせちくる心もつなり

佐藤 てる子

リリーの花活けて窓べの涼風におくれ毛吹かされるも愛しき

常警銀行新築移転御案内
 湯本支店 湯本町温泉神社向角へ新築中ノ處此程落成致候ニ付本月二十五日ヨリ新館ニ於テ營業可仕候間不相變御愛顧御引立ヲ賜リ度此段御案内申上候
 昭和九年六月廿三日
 湯本町大字湯本字三國廿四番地
 常警銀行湯本支店
 電話三九番

スガノヤ提灯店
 各種取揃へました是非お求め下さい
 平四 電九五番

みるからに！
 涼しそな……夏季の必需品
 氷水屋のれん
 一枚020ヨリ
 一般家庭向カーテン

是非！

御融通には御利用下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店
 平四・電六〇六番

外科全般

特ニ内臓外科及ビ内、外、兩域疾患
 醫學博士 渡部 義夫
 小兒科、内科 女醫 渡部 さい子
 平町役場前 電話二七七番

渡部 外科

入院應需
 診療午前八時ヨリ午後九時マデ

池坊平華道研究会
 初心ノ人々ヲ標準トシテ専門研究並ニ教授者ノ爲ニ華道ニ關スル理論及技術ノ大要ヲ確實ニ習得セシム
 要目、生花、立華、盛花、投入、實地挿習解説、尙口傳
 毎週 月曜午前九時ヨリ正午マデ
 (但シ七月の第一月曜ヨリ)
 會場 平町長橋性源寺
 講師 先崎翠峰先生
 日本華道ノ發展向上ヲ圖ルタメ進ンデ御來會ノ程御願ヒ致シマス。

味覺の先驅者！

日の出ソース新發賣
 四合壘(一本)三十五錢
 御披露の爲め來る二十七日迄御買上一本毎に世界館御招待券を進呈致します。
 是非……發賣店でお求め下さい。
 製造本舖 佐藤善次郎商店
 平古鍛冶町三七四番

- | | | |
|----|----|----|
| 會津 | 栗野 | 大南 |
| 鍋島 | 末廣 | 白萩 |
| 大津 | 白萩 | 白萩 |
| 嘉津 | 白萩 | 白萩 |
| 竹酒 | 白萩 | 白萩 |
| 菊酒 | 白萩 | 白萩 |
| 老酒 | 白萩 | 白萩 |
| 海老 | 白萩 | 白萩 |
| 誠屋 | 白萩 | 白萩 |

耳鼻咽喉科専門

入院應需
 平町田町七〇番地
 山内醫院
 醫學士 山内亨吉
 電話六九一

滞納鑛區を

五日に競賣

平稅務署では炭界好轉の爲め鑛業稅の徵收成績良好になつたが未だ小炭鑛中には依然として滞納を續けてゐるものあり現在滞納總額一萬九千七百三十三圓に達してゐるのでそれ／＼強制差押へ處分を斷行來る七月五日鑛區の競賣處分を行ふ事になつたが主なるもの左の如

くである
△赤井村川瀨炭鑛(四ヶ年分滞納、金額六百二十五圓) △東京市神田區千代田町合資會社遠藤組(五ヶ年分滞納、金額二千六百二十四圓) △好間村岡田力松(三ヶ年分滞納、金額六百二十四圓) その他二十件

我兒の教育振りに

感激しての感謝狀

本日篠山校長宛に二本

既報平第一小學校では昨日から本日迄兒童父兄の懇親會を開き昨日は三百名、本日も二百餘名の來校者あつたが校長始め諸訓導に感謝の餘り無名の感謝狀が本日篠山校長宛に二本配達され

健康相談

平第三校で

平第三小學校では此程健康相談日を設置毎週金曜日根本校醫の出張をこひ兒童の健康に關する診療及び衛生相談に應ずると

都市美觀を失ふ

汚物や塵介の山

臭氣を放つて近所迷惑 取締方嚴達

平町紺屋町、材木町、鍛冶町、才植小路各區の空地溝渠等に最近うづ高く汚物塵介廢物等が積まれ都市美觀を損ふのみならず夏に

都計技師

來平滞在

本縣土木課富安技師は平町の都市計畫調査のため昨十三日來平したが約一週間

平商辯論の雄

審査會で入賞決定

平商では過般行つた辯論大會出演者の成績を昨日審査會に附し左の如く入賞者を決定した
(二等)三年鹽澤友吉(二等)二年小澤幸三(三等)三年龜岡進一(四等)二年松島精(五等)四年岡田彦太郎

女大教授

女教員會講演

石城女教員會では本月廿日平第二小學校に講演會を催すが講師は日本女子大學教授井上秀子氏であると

衛生思想漸次普及

トラホーム豫防費減少

平町に於ける八年度のトラホーム豫防費は
檢診費百九圓、治療費三百六圓九十五錢、雜費二十七圓六十錢
合計四百四十三圓五十五錢を要したが最近町民の衛生思想の發達により年々豫防費も減少しつつあり當事者も喜んでゐる、尙ほ同豫防費の縣費補助金百二十九圓六十三錢の交付方をけふ縣へ申請した

磐女競技

採點決定

既報磐女では豫てより全學年の陸上競技、及び球技を行つて成績採點中であつたが陸上競技は二年が卅六點で一等となり優勝権を獲得球技では左の各學級が一

体育ダンスの講習

一般希望者も歓迎

石城女教員會では八月七、八、九の三日間東京青山師範教諭大日本ダンス聯盟會長滋井二夫氏外四名の講師を招き体育ダンスの講習會を催すが同會には教員以外一般希望者の受講を歓迎し体育ダンスの普及に努めると

平商の復讐成る

十三對六で強敵磐中を破る

磐中對平商の第五回戦は昨廿二日午後三時より磐中グラウンドに於いて行れたが昨日迄負續けの平商は復讐の意氣物凄く盛んに長打を發し殊に相澤、小井戸と二本の本塁打を飛ばし十三對六の成績で強敵磐中を倒した

學校増築資金に

窮して寄附募集

大野村では過般工費四千圓を投じて同村小學校の増築工事を行つたが資金難に陥つたので此程全村から寄附募集を開始したと

交附金増額

前提的調査

各種縣稅、附加稅の内、家屋稅、營業稅、雜種等の獨立稅は各町村に徵收を委託し完納の分に對しては賦課額の百分の四宛の交附金ありが財源難に悩む平町始め縣内各町村では之が交

七年 二六三三 二〇三三 三三三
八年 二六三三 二〇三三 三三三

七年 二六三三 二〇三三 三三三
八年 二六三三 二〇三三 三三三

七年 二六三三 二〇三三 三三三
八年 二六三三 二〇三三 三三三

蘭取引況

植田蘭市場の第二日
昨二十二日の取引狀況は出廻り△白蘭九百五十貫、黃蘭一千百貫、合計二千五百貫で價格は白蘭高値二圓三十三錢、安値二圓十錢、買馴二圓十八錢、黃蘭高値二圓三十錢、安値二圓、買馴二圓二十二錢で掛目は白蘭十九掛黃蘭十八掛初日と大差ない狀況である

四倉市場況

△白蘭出廻り四千二百貫、高値二圓五十八錢、安値二圓、買馴二圓四十錢十九掛
△黃蘭出廻り五百貫、高値二圓三十五錢、安値一圓八十錢、買馴二圓十五錢十八掛

平町人事

回出生
△長橋町四三 五十嵐健雅
△長男一郎さん
△十五丁目一二 兒山達二
△四男孝さん
回死亡
△長橋町四三 五十嵐健雅
△長男一郎さん

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
平町田町
電話五八番

解雇者に同情

爭議起る

悲運の宇佐美炭礦に 要求書を提出

常磐炭界に於ける労働爭議は昭和二年の磐炭大争議以來深刻に襲ひ來つた不況の颯風ととも影を秘め更に昨春の小川治雄等の全協オールの大檢舉に依り尖鋭的分子を失つて全く運動を放擲した形であり平署の特高も手を緩めてゐたが突如數日來から炭礦景氣を外に赤井村の小炭礦の爭議が勃發した一赤井村大字赤井宇佐美炭礦炭礦所では去月中旬頃から採掘炭層全

絶滅して休山同様の

悲運に遭遇したので四月以降の給料未拂となつてゐたが止むなく新坑道發掘に努力する事になり百餘名の坑夫が過剰となつたので三分の一に減員すべく去る十五日全坑夫に四月分の給料を支給すると同時に三分の二

清田検事の名刺を

振り廻して

當時住所不定岡縣三島町生れ齋藤茂太郎(三)は去る三月頃から會津若松市吉野

漆器の手付詐欺

屋漆器店外交員と稱して石城郡地方を中心として中流家庭を訪問して

は注文を契り手付金を騙取し廻つた事平署で探知、詐欺現行犯として捜査中最近相馬郡に入り込んだので富岡署に取捕へ方手配すると、もに平署から大谷刑事出張捜索の結果昨二十二日富岡に於て逮捕、平署に押送し目下

山の新風景

平町の山の手舊城跡と八幡小路を結ぶ高麗橋は工費一萬二千圓を以つて照明燈等の設備を施したコンクリートのモダン橋に改める事になりこの工事全部を堀江工業會社が請負つた事既記の如くである、来る二十五日午前十時から土木委員七名、才植小路、舊城跡

モダン高麗橋

廿五日に起工式 照明燈も點す 見てゐた同橋も愈々新装をこらして町民にお目見得するわけで山の新風景の一となるであらう

明日のラジオ

今夜の南の風 明日は南西の風晴

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 管絃樂行進曲 集歡喜外
- 五ツ東京ラヂオオーケストラ 指揮 平野圭水
- 後六、二五 講演 第五回 宮城縣男女青年雄辯大會 入賞者
- 後七、三〇 獨語 小公子

暴行殺害 判檢事臨檢

既報勿來町の幼女暴行殺害事件の被疑者として植田署に檢舉された同町大日本炭礦坑夫竹郎二男 依藤正夫(二)假名に就いて平檢事局では本日再び吉岡檢事、荒井豫審判事、桑名書記の一行が桑名書記の一行が植田署に出張強制處分に附して取調を開始した

早朝の校庭に

ラチオは叫ぶ 昨年同様休暇中体操 平職業紹介所報告 同人を求める方

盗人の晝寢

荒し廻る怪少年 公園のベンチで捕る 去る二十日午前一時頃平驛前料理店北村トク方に怪漢を奇貨として手提金庫をこぎ開け現金五十錢及び債券株券、證書類並びに衣類數點を窃取逃走したるを家人が発見平署に届出たので犯人捜索中昨二

船具専門

各地を荒す 茨城縣多賀郡關南村字田町生れ菊地三郎(三)は去る二十一日午後四時頃平町南町地内で舉動不審で平署員に取押へられ取調の結果各濱で船具及び附屬品を専門に窃盜を働いた事を自白したが餘罪ある見込で目下取調中

- ### 明日の
- 前九、一〇 料理献立 榮
 - 前九、三〇 子供の時間
 - お話 中村孝也
 - 前一〇、〇〇 宗教講話 大慈為本天台宗寺門派宗史 大僧正山祥晃玉
 - 前一一、三〇 講演 植田壽藏
 - 前一一、〇〇 講演 伯爵 青浦奎吾
 - 後〇、五〇 滿洲より
 - 後一、二〇 講談「相馬大作の決意」寶井馬秀
- ### 早朝の校庭に
- 後一、五〇 俚謠 佐々木忠内外
 - 後二、五〇 浪花節「曾根崎の仇討」齋甲齊虎一丸
 - 後六、〇〇 子供の時間
 - 童話劇「オヨビ動物話」第三回 ビーター子供サークル
 - 後六、二五 産業ニュース
 - 後七、三〇 長唄「伊達姿」 江都錦繪 杵屋佐吉
 - 後八、三〇 東西寄席めぐり(其の四)京都新極富貴より中繼
- ### 船具専門
- △新開設 十六才 平商
 - △在學 結料面談
 - △土工夫 四十四才 尋卒
 - △給料面談
 - △女中 十六才 高卒 給
 - △紙箱造見習 廿才 高卒
 - △給料面談
 - △給仕 十五才 高卒 給料面談

浮名新音頭

(飛騨上陸及上巻)
田邊南龍(作)
山本英春(書)

六五

計略で賊を一撃
飛騨守が段々にお調べに
相成ると、半左衛門が口惜
涙を流しながら、権八が三
百兩餘の金を残らず一人占
めにして了まつた事を話し
たから飛騨守も驚かれ

「我が勤役中未だ會て聞か
ざる程の大悪人は平井権八
である」

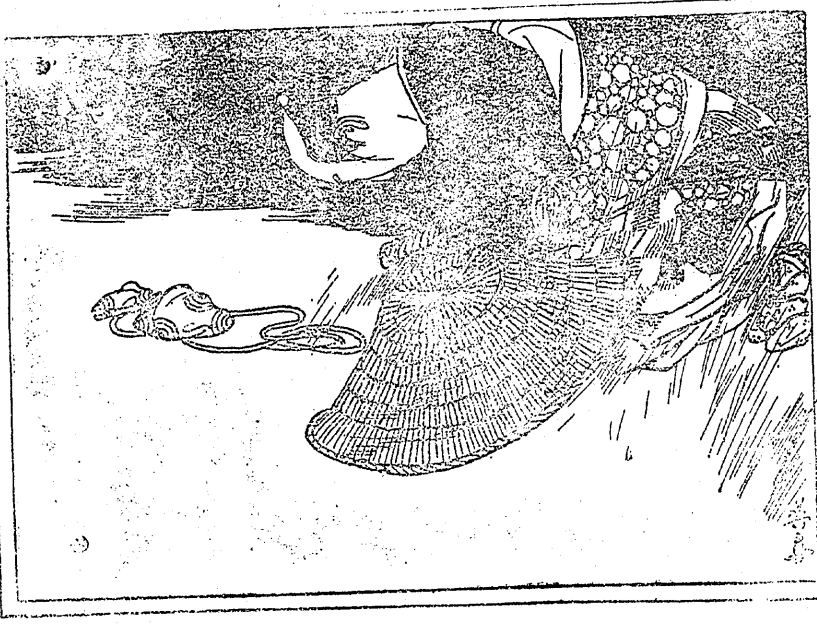
と仰せられたといふ、竹
永、本目は餘罪もあるけれ
ども、同犯の権八がお召捕
りにならない内は證人として
とめ置かなければならない
から、之れは傳馬町の大牢
へ入獄といふ事になりました。

さて平井権八は、彌市を
殺して三百兩の金を取り
竹永半左衛門には一文も遺
らず別れて只一人川越の城
下へ来て約半月ばかり隠れ
てゐたが、詮議が大分厳し
くなつて来たので、夜に紛
れて川越を立出で、曉七ツ
頃、松井原とい處へ掛つて
來ると、頭の上で

「旅人待てッ」
といふ聲がする、権八不
審に思つて、振返つて見た
が、更に人影も見えない、
扱は氣の故かと、行過ぎや
うとすると

又呼止めた

「誰か拙者を呼ぶ者があ
るが、何處にをるのだ」
「頭の上を見ろ」
「ナニッ」
仰向いて見ると、二丈ば
かりの松木の上に、大きな



行けば宜し、四の五の吐し
やア仕方ねえ、ズドンと
一發御見舞申すから覺悟を
しろ」
「さては汝は盗人殿か、決
して早まつてはならぬ、拙
者鐵砲は大嫌ひだ、如何に
も望み通り金子を遣はず
コレ此の財布に三百兩入つ
てをる、之を残らず差出す
が、どうか此の内一兩だけ
拙者に下され、どうかお恵
みに預かりたい」
と権八大地にドツカと座
して財布を前へ投出し、兩

野郎が鐵砲に火繩を挟んで
権八を狙つてゐるから、権
八も驚いた
「コレ、貴様は何奴だ」
曲者はカラ〜と笑つて
「此處は地獄の一丁目があ
つて二丁目のねえ處だ、サ
ア懐中の金を残らず置いて

手を付いて頼んだから、泥
棒は大口開いてカラ〜と
笑ひ
「思つた程もねえ弱え野郎
だ、尤も其の面つきぢやア
劍術も祿に出来なからう、
よし、餘り出しッぶり
宜いから、望み通り一兩だ

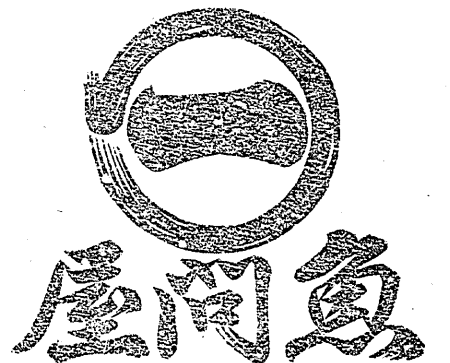
けは呉れてやるが汝もお情
深えお泥棒様に遇つて仕合
せだ、之が外の盗人だつた
ら、一兩は扱て置いて、一
分だつて呉れる奴があるも
のか、俺も厄落しと諦めて
くれてやるのだ、今其處へ
下りて行くから神妙にして
ゐろ」

飽まで散八を柔弱者と侮
つた彼の泥棒、スル〜と
木の上から下りて來て、ツ
カ〜と権八の傍へ進み寄
つた、権八は煙草入と煙管
を取出して
「慮外ながら火を一ツお貸
し下され、膽鎮めに一ぶく
致す」
と、盜賊の傍へ寄つて、
鐵砲の火繩で火を吸ひ付け
る態をして巧に火を摺消し
「イヤ之れは甚だ不調法
でした」
と地上へ投出して置いた
財布を拾ふと、手早く首へ
掛けたから盜賊は慌て、
「コレヤイ、何を巫山戦た
眞似をしやアがるんだ」

駿馬のいなゝき血は躍る
福島競馬へ!!!
十六日(土) 十八日(月) 二十三日(土)
十七日(日) 廿二日(金) 二十四日(日)
午前六時出發—午後九時歸着
會費 金 五圓也
晝食と特等入場券進呈
▲募集人員 毎日 五名 限り
平騾構内一般貸切 電話三三番
不タクシ!

新

鯉節出賣



魚問屋
店理代平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電)目丁四平

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七

おなじみの魚清

うなぎ
うなぎ
うなぎ

賣始めました。

どうぞ御用命を

かばやき 五十錢
うなぎ重 五十錢
うなぎ井 三十五錢
うなぎ玉子 二十五錢(二人前)

平二警察署裏通り

魚清食堂部

電話六三三番

◎アイスクリーム(十錢)始めました
◎出前持至急入用 ◎希望者ハ来店アレ